

中嶋嶺雄氏を偲ぶ

お別れの会・UHHAシンポジウム

国際教養大学(秋田市)の初代理事長兼学長で、2月に逝去した中嶋嶺雄氏の「お別れの会」が6月2日、都内で



挨拶する文部科学省高等教育局長・板東久美子氏

中嶋氏の妻・洋子氏は、生前の中嶋氏が鈴木新学長について「大学教育について目指す方向性が一致している」などと語っていたことを披露。新しい学長が決まり安心していと語った。

また去る5月27日には、中嶋氏が座長を務めていた、羽田空港を拠点に高等教育のグローバル化を目指すUHHA (University Hub Haneda Airport) の第2回シンポジウムが開催された。今回はアフリカ開発会議(TICADV)のパートナー事業として、「日本とアフリカこれからのパートナーシップとアフリカ開発を支えるグローバル人材とは」をテーマに、アフリカに精通するエキスパートによる特別講演やパネルディスカッションが行われた。

このお別れの会は、中嶋氏が以前教鞭を執っていた東京外国語大学(東京都府中市)の教え子からなる「中嶋ゼミの会」が主催。明石康氏(元国連事務次長)や鷹城勲氏(日本空港ビルディング株式会社代表取締役社長)らが弔辞を述べ、故人を偲んだ。

また、当日は国際教養大の新理事長兼学長に就任した鈴木典比古氏も挨拶に立った。

中嶋氏の追悼企画でもある今回のシンポジウムについて、エグゼクティブコミッティのメンバーでもある文部科学省・板東久美子高等教育局長は「中嶋氏の遺志を継いで今回のシンポジウムを開催でき、本当に喜ばしい」と述べ、今後も中嶋氏が目指した高等教育のグローバル化に向け邁進していくことを確認して閉会した。

平成25年6月10日
大學新聞